

みんなの人権

みなさんも一緒に考えませんか

【問い合わせ先】

役場人権推進室（総務課内）

☎ 963-1730（直）

ご存じですか？バリアフリーに関するサインやシンボルマーク

バリアフリーとは、多様な人が社会に参加する上での障壁（バリア）をなくすことです。多様な人たちのことが考慮されていない社会は、心身機能に障がいがある人などにとって、さまざまなバリアを生み出しています。障がいの有無にかかわらず、高齢になっても、どんな立場でも、安心して自由に生活するために、建物や交通機関などのバリア

フリーだけでなく、一人ひとりが多様な人のことを思いやる「心のバリアフリー」を広げましょう。

配慮が必要な人を支援するために、バリアフリーに関するさまざまなサインやシンボルマークがいろいろな場所で使われています。それぞれのサインやシンボルマークの意味を理解して、心のバリアフリーを広げましょう。

障がい者のための 国際シンボルマーク



車いす使用者に限らず、障がいのある人すべての人が利用できる建物や施設を示す世界共通マークです。

駐車場やトイレなどに表示されています。

視覚障がい者のための 国際シンボルマーク



視覚に障がいのある人のための世界共通マークです。視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された設備、機器などに表示されています。

耳マーク



聞こえない人・聞こえにくい人への理解と配慮を求めるためのマークです。口元を見せてゆっくりはっきり話す、筆談をするなどして対応しましょう。

ヘルプマーク



義足や人工関節を使用している人、難病の人など、外見から分からなくても、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークです。

席をゆずる、声をかけるなど思いやりのある行動をしましょう。

出典：政府広報オンライン「知っていますか？街の中のバリアフリーと「心のバリアフリー」

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201812/1.html>

心配ごと・福祉なんでも相談



みなさんの身のまわりに起こっている苦情や心配ごとなど、気軽に相談してください。相談は無料で、秘密は固く守ります。

日時 2月10日（火）午前10時～午後3時

※1人当たり30分

場所 町福祉センター

相談員 人権擁護委員、行政相談委員
社会福祉協議会職員

内容 生活・家庭不和・結婚・近隣の問題、行政に対する苦情、高齢者や家族の悩み、福祉サービスの利用や金銭管理の不安、生きがい活動などの相談

※予約は不要です。会場に午後2時30分までにお越しください。

問い合わせ先 町社会福祉協議会

☎ 963-0921（直）